



華井 和代

東京大学 未来ビジョン研究センター 特任講師

東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了（国際協力学博士）。東京大学公共政策大学院特任助教、未来ビジョン研究センター講師を経て2022年4月より現職。コンゴの紛争資源問題と日本の消費者市民社会のつながりを研究。2019年にNPO法人RITA-Congoを設立し、共同代表に就任した。また、元高校教師の経験を生かして平和教育教材を開発・実践している。主著は『資源問題の正義—コンゴの紛争資源問題と消費者の責任』（東信堂、2016年）。



クリスチャン・S・オチア

名古屋大学 大学院国際開発研究科 准教授

国連アフリカ経済委員会 政策アドバイザー

名古屋大学大学院博士課程修了、博士（国際開発専攻）。国連食糧農業機関コンサルタント、関西学院大学国際学部専任講師を経て、2018年より現職。専門は産業政策、計量経済学。著書『Designing Integrated Industrial Policies Volume I & II』（編著、Routledge、2020年）ほか。



レイバン・キティンジ・キニユア

上智大学 アジア文化研究所 研究員

東京外国語大学 現代アフリカ地域研究センター 特別研究員

上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士課程修了（地域研究専攻）。上智大学卒業後、日本学術振興会特別研究員として、法政大学法学部国際政治学科に在籍。その後、2021年に上智大学グローバル・スタディーズ研究科に研究員として着任。2022年4月より、上智大学アジア文化研究所研究員として勤務。サハラ以南のアフリカ農村の生計を、政治のレンズを通して探る研究を行っている。現在のプロジェクトは、アフリカ農村部の若者とデジタル・プラットフォームとの関わりを探るものである。



ランガライ ガビン・ムチェトゥ

サム・モヨ・アフリカ農業研究所 特別研究員

日本とジンバブエにおける農業協同組合の発展に焦点を当てた研究により同志社大学博士号取得。また、同大学におけるポスドク研究の成果として、『After Radical Land Reforms: Restructuring Agricultural Cooperatives in Zimbabwe and Japan』を出版した。農民と農村の農業マーケティング戦略や地域開発に10年以上の経験を持つ。